# 年　　月　　日

中間処理施設 事前計画書

記載例

　　　　　　　　　　 （産業廃棄物・特別管理産業廃棄物）

申請者 　　　　　　　　中間処理を行う事業者

郵便番号　１２３－４５６７ 郵便番号　２３４－５６７８

住所　東京都八王子市１－２－３ 住所　東京都八王子市１－２－４

名　称及び　(株) ＊＊＊＊ 名　称及び （株）＊＊＊＊＊

代表者氏名　代表取締役　＊＊＊　　 代表者氏名　代表取締役　＊＊＊＊

電話番号　０４２－＊＊＊－３４５６ 電話番号　０４２－＊＊＊－４５６７

ＦＡＸ番号 ０４２－＊＊＊－００００ ＦＡＸ番号 ０４２－＊＊＊－００００

|  |  |
| --- | --- |
| 申請の区分 | 産業廃棄物　・　特別管理産業廃棄物 |
|
| 新規許可　・　変更許可 |
|
| 中間処理施設の所在地 | 東京都八王子市３－２４－１ |
|
| 用途地域 | 工業地域・準工業地域・商業地域・その他（　　　　　　　　） |
|
| 作業時間 | ８時から１７時まで |
|
| 取り扱う産業廃棄物の  種類と処理の方法 | 破砕：がれき類 |
|
|
|
|
|
| 中間処理施設に 関する変更事項 | ･　無 |
|
| 変更内容は、３「申請の概要」及び 「変更事項に関する図面」のとおり |
|
|
| 八王子市における　　　　 他の許可の有無 | （許可番号　\*\*\*\*\*\*　）・無 |
| 担当者 | 総務部総務課　＊＊＊＊　電話：\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* |
| 行政書士事務所　担当者　＊＊＊　電話：+++++++++++ |

**３　申請又は届出の概要**

**変更事項**

**概要**

建設系産業廃棄物の資源循環を推進するために、がれき類の破砕を行っている。今回は、変更申請であり、処理前保管場所の変更をしている。

施設概要

破砕機　１台：がれき類

施設設置場所は、工業地域で、近隣は工場、事業所、駐車場であり、苦情はない。施設は、処理設備、保管場所とも全てコンクリート舗装された建屋内に設置している。破砕機と処理前保管場所は、さらに防音室内に設置し、騒音防止をしている。出入口には、電動シャッターを設置し、作業中はシャッターを閉じている。粉じん防止のため、散水栓を設置している。建屋内には、排水溝を設置し、汚水は油水分離槽を通して下水道放流する。処理後物はＲＣ２０、ＲＣ４０として売却している。

**変更事項**

処理前保管場所

　直置き　　６０㎥　⇒　直置き　７０㎥

**３　変更事項に関する図面（変更前）**

建屋

水噴霧装置又は散水栓

：

防音室

　 　　　処理前

がれき類　　　　　　　　　　　　　破砕機

　　　　　　　　　置き場

　　　 　　 コンベア

　　 カバー付き

入口 出口

事務所 残さ物置き場

掲

示 　 ＲＣ

板 　　　 ２０

処理後

入口 がれき類置き場

　　　 （電動シャッター）

ＲＣ

４０

洗　車　場

駐 駐 駐 　 駐 容器洗い場

車 車 車 車

場 場 場 場

排水処理

設備

所 所 所 所

**３　変更事項に関する図面（変更後）**

建屋

水噴霧装置又は散水栓

：

防音室

　　　　　　　処理前

がれき類置き場　　　　　　　　　破砕機

　　　 　　 コンベア

　　 カバー付き

入口 出口

事務所 残さ物置き場

掲 　 　 台

示 貫 ＲＣ

板 　　　 ２０

処理後

入口 がれき類置き場

　　　 （電動シャッター）

ＲＣ

４０

洗　車　場

駐 駐 駐 　 駐 容器洗い場

車 車 車 車

場 場 場 場

排水処理

設備

所 所 所 所

**４　施設の案内図**

**北**

　中央線

　＊＊駅

交番

銀　行

　事務所 　 都立病院

八王子市１－２－４

中間処理施設

八王子市3－24－1

至　西町 国道　０号（　　街道） 至　東町

**５　用途地域を示す図面**

**北**

商業地域

準工業地域

　中央線

　＊＊駅

商業地域 交番

商業地域

商業地域

銀　行

　事務所

八王子市１－２－４

準工業地域 準工業地域

中間処理施設

八王子市3－24－1

商業地域 準工業地域

至　西町 国道　０号（　　街道） 至　東町

商業地域

**６　施設の周辺図等**

　写真Ａ 都立病院

駐車場

写真Ｃ

写真Ｂ

Ｆ 宅

Ａ 宅 Ｂ 宅

Ｕ　社

　　 　　　　　中間処理施設

　 搬出入口 Ｈ 社

Ｙ 宅

Ｄ 宅 Ｋ 社

写真Ｄ

至　西町 国道　０号　　庁街道） 至　東町

Ｍ 宅

ガソリンスタンド

　Ｇ 社

２５ｍ ２５ｍ

１００ｍ

**６　施設の周辺図等（写真）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１／＊**

写真Ａ：西側周辺状況

写真Ｂ：北側周辺状況

**写真Ｃ、Ｄについても、上記と同様に整理し添付してください。**

**７　施設内配置図**

写真Ｂ

建屋

水噴霧装置又は散水栓

：

防音室

　　　　　　　処理前

がれき類置き場　　　　　　　　　破砕機

写真Ａ 　　 コンベア

　　 カバー付き

入口 出口

事務所 残さ物置き場

掲 　 　 台

示 貫 ＲＣ 写真Ｃ

板 写真Ｆ ２０

処理後

入口 がれき類置き場

写真Ｅ （電動シャッター）

ＲＣ

４０

写真Ｇ

洗　車　場

駐 駐 駐 　 駐 容器洗い場

車 車 車 車

場 場 場 場

排水処理

設備

所 所 所 所

写真Ｄ

**７　施設内配置図（写真）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１／＊**

写真Ａ：西側塀

写真Ｅ：搬出入口

**写真Ｂ、Ｃ、Ｄ、Ｆ、Ｇについても、上記と同様に整理し添付してください。**

**７　掲示板の写真**

＊　中間処理施設

　産業廃棄物　中間処理施設

産業廃棄物　積替・保管施設

＊　保管場所

**８　排水処理設備等の図面**

水噴霧装置又は散水栓

建屋

防音室

　　　　　　　処理前

がれき類置き場　　　　　　　　　破砕機

写真Ａ

　　　　　　 　 汚水用側溝

汚水ます

写真Ｂ 　 写真Ｃ

事務所 残さ物置き場

写真Ｄ　 台

貫 ＲＣ

　　汚水ます ２０

ＲＣ

入口 ２０

（電動シャッター）

ＲＣ

写真Ｅ ４０

汚水用側溝

洗　車　場

駐 駐 駐 駐 容器洗い場

車 車 車 車

場 場 場 場

排水処理

設備

下水へ 所 所 所 所 写真Ｆ

**８　排水処理設備等（写真）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１／＊**

写真Ａ：防音室内 汚水用側溝（西側）

写真Ｆ：排水処理設備

**写真Ｂ、Ｃ、Ｄ、Ｅについても、上記と同様に整理し添付してください。**

**９　産業廃棄物の流れ（フロー図）**

産業廃棄物の処分方法 破砕

　　産業廃棄物の種類　　　 がれき類

①　搬出先でダンプ車両に直積みし、シートを掛けて自社車両にて搬入

　　②　台貫後、防音室内のがれき類置場に降ろし保管

③ 破砕機にて破砕処分

④　コンベアにてＲＣ２０、ＲＣ４０置場（処理後がれき類置場）

に搬送・保管

⑤ ダンプ車両に直積みに積込み、シートを掛けた後台貫し搬出

⑥ 破砕処理後の残さ物（鉄くず等）については、ダンプ車両に

直積みし＊＊製鉄所へ自社で運搬、売却

**＊　流れの図　＊**

排出先：がれき類

当社による収集運搬

処理前　　保管場所に保管

破砕機にて破砕（再生砕石の製造）

製品 残さ

残さ物置場にて保管

処理後　保管場所に保管

当社による搬出

当社による搬出

＊＊興業で処分

許可番号：13-20-999999

建設業者へ売却

**１０　産業廃棄物の流れ（場内ルート図）**

産業廃棄物の処分方法 破砕

産業廃棄物の種類 がれき類

水噴霧装置又は散水栓

建屋

防音室

　　　　　処理前 がれき類置場 破砕機

　　　 　　 　 コンベア

　　 カバー付き

入口 出口

事務所 残さ物置き場

　 　 台

貫

　　　 処理後 RC20

　　　　搬入

　　　　　　 　　 がれき類置き場

残渣物搬入

製品搬出 RC40

入口（電動シャッター）

洗　車　場

駐 駐 駐 　 駐 容器洗い場

車 車 車 車

場 場 場 場

所 所 所 所 排水処理

設 備

**１１　保管する産業廃棄物の一覧表**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 産業廃棄物の種類 | 処理方法 | 処理前保管場所 | 処理後保管場所 |
| がれき類 | 破砕 | ２０　ｍ３ | ３０　ｍ３ |
|  |  | ｍ３ | ｍ３ |
|  |  | ｍ３ | ｍ３ |
|  |  | ｍ３ | ｍ３ |
|  |  | ｍ３ | ｍ３ |
|  |  | ｍ３ | ｍ３ |
|  |  | ｍ３ | ｍ３ |
|  |  | ｍ３ | ｍ３ |
|  |  | ｍ３ | ｍ３ |
|  |  | ｍ３ | ｍ３ |
|  |  | ｍ３ | ｍ３ |
|  |  | ｍ３ | ｍ３ |
|  |  | ｍ３ | ｍ３ |

**１２　主要機器及び付帯設備（主要機器関連イメージ図）**

産業廃棄物の処分方法 破砕

産業廃棄物の種類　　 がれき類

**がれき類**

**破砕機** **コンベア**

**散水装置**

**処理残さ物**

**再生砕石**

**１３　主要機器及び付帯設備（配置図）**

産業廃棄物の処分方法 破砕

産業廃棄物の種類 　　　 がれき類

建家 ：水噴霧装置又は散水栓

防音室

　　　　　　　処理前

がれき類置き場　　　　　　　　　破砕機

写真Ｂ

　　　　 写真Ａ１～５

　　　　　　　コンベア

入口 出口

事務所 残さ物置き場

写真Ｃ

　 　 台

貫 ＲＣ

　　　 ２０

処理後

入口 がれき類置き場

　　　（電動シャッター）

ＲＣ

４０

写真Ｄ

洗　車　場

駐 駐 駐 　 駐 容器洗い場

車 車 車 車

場 場 場 場

所 所 所 所 排水処理

設 備

**１３　主要機器及び付帯設備（写真）　　　　　　　　　　　　　　１／＊**

産業廃棄物の処分方法 破砕

写真Ａ－１：防音室内 破砕機の写真（全体図）

写真Ａ－２：防音室内 破砕機の写真（投入口）

写真Ａ－３：防音室内 破砕機の写真（搬出口）

**写真Ａ４～５、Ｂ、Ｃ、Ｄについても、上記と同様に整理し添付してください。なお、１枚では施設の概要が把握できない場合には、必要な数枚の写真を添付してください。**

**１３　主要機器及び付帯設備（図面）**

産業廃棄物の処分方法 破砕

　機　　器　　名 破砕機

**ベルトコンベア、散水設備についても、上記と同様に記載し添付してください。**

**１４　主要機器計算式**

産業廃棄物の処分方法 破砕

　機　　器　　名 破砕機

　①　周速度：V（ｍ/分）

　　　　回転数：N（ｒｐｍ）　　　　V=３．１４×D×N

②　刃断面：S（ｍ２）

　　刃枚数：ｎ（枚）　　　　　　S=ｎ×ｗ×H＝W×H

③　破砕量：ｑ（ｍ３/分）　　　　ｑ＝V×S×η×０．０８

　　　 ０．０８：全体効率（破砕に伴う各効率をまとめたもの）

嵩比重：η（ﾄﾝ/ｍ３）　　　　廃プラスチック類　０．３５

　　　　　　　　　　　　　　木くず　　　　　　０．５５

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　がれき類　　　　　１．４８

④　時間当たりの破砕量：Q=（ﾄﾝ/時）　Q=ｑ×６０

　　　※下線部分は例示（申請の際には数値の根拠を示してください）

　　　※上記嵩比重は環境省通知（環廃産発第０６１２２７００６号）を参照

**１５　主要機器及び付帯設備（設置場所の安全性を明かにする説明等）１／＊**

産業廃棄物の処分方法 破砕

　機　　器　　名 破砕機

　①　想定した荷重

　 機器の自重　：　＊＊トン

　　 廃棄物の重量：　＋＋トン

　　　合　計 　 ＃＃トン

安全率＄と設定して　％％トンとした。

②　地震耐力

％％トンの状態において、震度＊（マグニチュード＄＄）が発生

したことを想定して、基礎等を設計した。

**１６　保管場所（図面）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１／＊**

産業廃棄物の種類 　がれき類

処分の前後 処分前・後 屋内 ・ 屋外 ／ 容器 ・ 直

正面図

側面図

３ｍ

写真Ａ ４ｍ

平面図

写真B

０．２ｍ

６ｍ

写真Ｃ

**１６　保管場所（写真）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１／＊**

産業廃棄物の種類 　がれき類

処分の前後 処分前・後 屋内 ・ 屋外 ／ 容器 ・ 直

写真Ａ：正面から

撮影

写真Ｂ：横から撮影

写真Ｃ：上から撮影

**１６　保管場所（計画容量）　　　　　　　　　　　　　　　　　　１／＊**

産業廃棄物の種類 　がれき類

処分の前後 処分前・後 屋内 ・ 屋外 ／ 容器 ・ 直

　【保管場所の図面】（注）内寸法で記載してください

　　・**保管場所**（細線は壁を表す）

平面図

０.５ｍ

２.５ｍ

　　　　　　　　　　　　　　　６ｍ　　　　　　　　　　　　４ｍ

　　　　　　　　　　　　　　　正面図　　　　　　　　　　　側面図

【保管場所の容量計算】

　４×２.５÷２×６＝３０㎥

**１６　保管場所（安全性を明かにする説明等）　　　　　　　　　　１／＊**

産業廃棄物の種類 　がれき類

処分の前後 処分前・後 屋内 ・ 屋外 ／ 容器 ・ 直

　①　想定した荷重

　 廃棄物の荷重　：　＊＊トン

　　 風による荷重　：　＋＋トン

　　　合　計 　　 ＃＃トン

安全率＄と設定して、壁に作用する荷重を　％％トンとした。

②　地震耐力

％％トンの状態において、震度＊（マグニチュード＄＄）が発生

したことを想定して、基礎等を設計した。

**１７　施設清掃に関する説明**

　　①　処理施設は、毎日、作業終了時に清掃する。

②　運搬車両の清掃・洗浄の方法と周期

清掃・洗浄の周期：週１回

清掃・洗浄の方法：当社所有の高温高圧洗浄機にて洗浄する。

③　保管場所の清掃・洗浄の方法と周期

清掃・洗浄の周期：月１回

清掃・洗浄の方法：当社所有の高温高圧洗浄機にて洗浄する。

　また、産業廃棄物が無くなった時に床面を清掃・洗浄するとともに、害虫駆除剤を散布する。

④　運搬容器の清掃・洗浄の方法と周期

清掃・洗浄の周期：月１回

清掃・洗浄の方法：当社所有の高温高圧洗浄機にて洗浄する。

⑤　排水処理設備（排水ます・側溝・オイルトラップ等）の清掃・洗浄の方法と周期

清掃・洗浄の周期：月１回

清掃・洗浄の方法：堆積した汚泥等をスコップ等で取り除いた後、当社所有の高温高圧洗浄機にて洗浄する。

また、同時に害虫駆除剤を散布する。

**１８　生活環境保全上の措置等（整理表）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 発生が想定される場所 | | 防止対策 | | |  |
| 場所等 | 明示頁 | 説明 | 図面 | 写真 |
| 粉じん | ①　破砕処分  ②　処分後の保管 | ２１  ２２ | ２２  　２３ |  | ２２  　２３ |
| 悪　臭 | ①　破砕処分 |  | ＃ﾍﾟｰｼﾞ | ＃ﾍﾟｰｼﾞ | ＃ﾍﾟｰｼﾞ |
| 振　動 | ①　破砕処分 |  | ＄ﾍﾟｰｼﾞ | ＄ﾍﾟｰｼﾞ | ＄ﾍﾟｰｼﾞ |
| 騒　音 | ①　破砕処分 |  | ％ﾍﾟｰｼﾞ | ％ﾍﾟｰｼﾞ | ％ﾍﾟｰｼﾞ |
| 大気汚染 |  |  |  |  |  |
| 有害物質 |  |  |  |  |  |
| 地下浸透 | ①　破砕処分  ②　処分後の保管 |  | ＆ﾍﾟｰｼﾞ  P ﾍﾟｰｼﾞ | ＆ﾍﾟｰｼﾞ  P ﾍﾟｰｼﾞ | ＆ﾍﾟｰｼﾞ  P ﾍﾟｰｼﾞ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

**１９　生活環境保全上の措置等（発生する恐れのある場所の明示）**

産業廃棄物の処分方法 　破砕

産業廃棄物の種類 　 がれき類

公害の種類 粉じん 　　　 着色

建家 ：水噴霧装置又は散水栓

防音室

　　　　　　　処理前

がれき類置き場　　　　　　　　　破砕機

　　　　　 　　 コンベア

　　 カバー付き

入口 出口

事務所 残さ物置き場

　 　 台

貫 ＲＣ

　　　 ２０

処理後

入口 がれき類置き場

　　　 （電動シャッター）

ＲＣ

４０

洗　車　場

駐 駐 駐 　 駐 容器洗い場

車 車 車 車

場 場 場 場

所 所 所 所 排水処理

設 備

**２０　生活環境保全上の措置等（中間処分）**

産業廃棄物の処分方法 破砕

産業廃棄物の種類 がれき類

公害の種類 粉じん

①　発生する恐れのある場所及び作業等

　　　　破砕機による破砕処理

②　対策

　　　　散水装置を設置し破砕作業中は散水を行う。

また、建家の中に防音室を設置し、防音室の中で破砕を行う。

散水装置の写真

・破砕機上部から

撮影

・破砕機側面から

撮影

**悪臭、振動、騒音、大気汚染及び有害物質の漏洩、地下浸透についても、粉じんのように記載してください。**

**２０　生活環境保全上の措置等（積替保管場所及び作業等）　　　　　　１／＊**

産業廃棄物の処分方法 破砕

産業廃棄物の種類 がれき類

公害の種類 粉じん

① 発生する恐れのある場所及び作業等

　　 　破砕後の製品をコンベアを使用し保管場所に積上げる作業

②　対策

　　　 散水装置を設置し作業中は散水を行う。

また、建家の中に保管場所を設置し、外部への粉じんの飛散を防止

　　　 する。

散水装置の写真

・RC40保管場所

・RC20保管場所

**２２　重機の一覧表、写真　　　　　　　　　　　　１／＊**

＊　フォークリフト　Ｔ＄＄＄

＊　フォークリフト　Ｎ＊＊＊－＄